


# にこにこ通心

平成30年5月

vol.9 

## 素敵なプレゼントができましたっ



去る4/25～26(木)、氷見の民宿に行ってきました。

メンバーは僕の両親、父方のおじおば、自分で7名1泊2日の旅でした。

僕の立ち位置としては、旅全般を通してのお世話係といったところでしょうか。

両親は金沢から車で、4人のおじおばは東京から新幹線に乗り、富山駅で夕々の再会  
氷見への道中、「待ち合わせ場所に90分のおじが現れる。新幹線内で発車時刻ギリギリで  
会えたこと」「東京駅で会えなかったためにダブって購入した切符の払戻を富山駅でしていたこと」  
など朝からの珍道中を面白おかしく聞かせていただきました。富山駅の改札口に4人が時間差で  
現れる光景を見るだけで、無事に富山に着いてよかったー!と心から思いましたっ



今回の旅行の経緯を少し。父方の兄弟姉妹で何年に一度か旅行  
をしていたのですが、とんとんに体力や思考力の衰えも感じる中、あと何回  
行けるか分からない。今年行っておこう!での開催でした。  
でこの話を耳にした僕が「6人で大丈夫? おれもいっしょに行こうか?」  
での同行でした。場所はおじおばの提案で氷見の民宿に決まりました。

今回の旅行にあたり、僕にはひとつの計画がありました。両親おじおばはみな能登の出身。  
時間の関係で能登まで行けないおじおばに、なんとかして能登を感じさせてあげることはい  
たろうか? 閃いた答えが、昨年始めたギターで「童謡ふるさと」を弾き語りしながら、スライドで  
両親おじおばの生まれ育った家、町、海、山、川、畑、学校の写真を映し出す、という演出でした。  
直感的にこれいい!!と思った僕は、旅行3日前に輪島・富来・羽咋をまわり大量の写真を  
ゲット。シンプルな編集をしていざ披露。

みなさんいっしょに歌ってくれたり、スライドに見入ってくれたり。

「あきら君、小さいのにありがとうね～」と皆さんとても喜んでくれました。  
両親おじおばの昔を懐かしむ笑顔を見た時に「よかった～」としみじみ  
お金には換えられない思い出をつくることができましたっ



今後、人間生活にAIがとんとん入ってきます。更に便利な世の中に  
するとますます希薄になっていく人と人との繋がり。時代の流れとはいえ、  
ちょっと寂しい気もします。だからこそ、相手を想う気持ちを忘れること  
なく、とて自分自身も心温まる人生を送りたい、と願う今日この頃ですっ



The trial version converts only 1 page. Evaluation only.

Converted by First PDF.

*(Licensed version doesn't display this notice and converts the whole PDF document!)*

[Click to get the license for First PDF.](#)